

事例 6 現場見学会

DATA
 場所：宮城県河南町鹿又高架橋、河南町立鹿又小学校
 実施者：仙台工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (022) 248-4131]
 参加者：河南町立鹿又小学校5～6年生 84名
 実施日：平成13年1月18日
 学習時間：3時間30分

関係する分野
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景
 三陸縦貫自動車道矢本石巻道路工事の本格化に伴い、自動車道への地域の関心と期待が一層高まりを見せています。この道路が、地域や自分の生活にどの様に関わっていくのか、この学習を通して理解を深めてもらうための取り組みです。

内容
 見学会に先立ち、鹿又小学校で事前に三陸縦貫自動車道についての説明を行い基礎的な学習をしました。その後実際に現場へ移動し、道路の作り方などの説明を受けて、ものづくりの魅力や大切さを体感してもらいました。また、子供たちからの疑問や質問に分かりやすく答えるなど、子供たちの興味、関心の持てる内容になっています。



熱心に説明を聞いてくれました



工事が進む様子を目の当たりに



ヘルメットも様になってきました



見学の記念にパチリ

- ポイント**
- 自動車道の建設が、地域の自然や経済とどのように関わって実施に工事されるかについて、学習します。
 - 道路のつくり方や、働く人々の姿を見てもらい、ものづくりの魅力や大切さを感じられます。
 - この道路が自分たちの生活にどの様に関わり、また地域がどの様に変わっていくのか、考える契機になります。

成果
 子供たちから多くの質問が飛び出し、自動車道をつくるために多くの人やお金や時間がかかることを知って、びっくりしたり感心したりしている様子が随所に見られました。
 また今回感じた事を文集としてまとめました。

参加者の声

「今回三陸自動車道の建設を見学して、有料道路は作るのが大変なんだと思いました。東京の高速道路はあんなに交わってるのにどうやって作っているんだろう。」
 (河南町立鹿又小学校)

「どれも感心したりびっくりしたけれど、特に感心したのが、道路を造るのに必要なお金は、ガソリン税という税金で建設されている、ということです。」
 (河南町立鹿又小学校)

「バスに乗ったまま、まだみかんせいな土だけの道路に登りました。さかが急でした。私は、こんな土の山が道路になるとは思いませんでした。」
 (河南町立鹿又小学校)



三陸自動車道見学のまとめ



三陸自動車道の見学に行つて



文集「三陸自動車道工事現場を見学して」

- 次のステップに向けて**
- 今後とも工事の進捗状況に合わせて、地元の小学生を対象に現場見学会を続けていきます。
 - 単なる現場見学ではなく、何のために建設される道路なのか、完成後の道路はどのように利用され、どのように地域へ還元されていくのかなど、地域の未来も含めて学習を広げることも考えられます。